

陸前高田市立小友小学校

2014年 12月 16日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 「陸前高田市東日本大震災検証報告書:資料編」陸前高田市
<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/kategorie/bousai-syoubou/shinsai/shiryou.pdf>

【場所】

門之浜湾から約1km、広田湾から約1.3km
の位置にある。

住所:岩手県陸前高田市小友町宮崎3-2

【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が浸水した。(1)

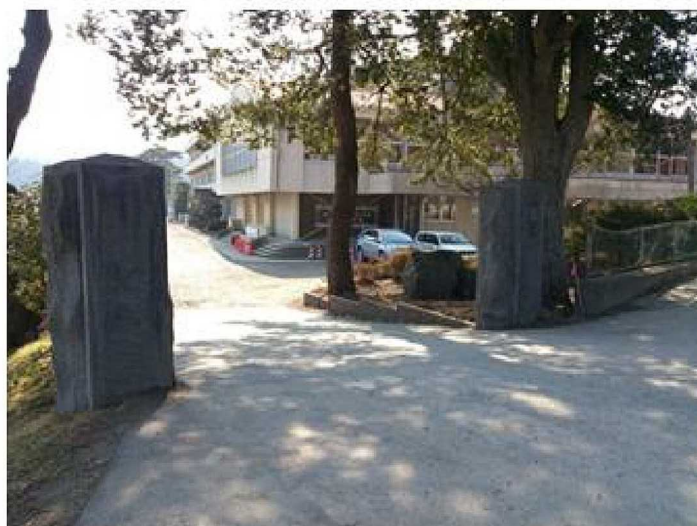


赤い範囲:陸前高田市

緑の範囲:小友小学校

【震災当日の様子】

地震が起こった時、1年生から4年生は下校した後で、5年生以上は「帰りの会」の実施中であった。地震発生後の14時55分頃に児童 52人と教職員 14人は校庭へ避難し、待機した。15時25分頃、只出方面(南東)からの津波を確認したため、小友中学校の生徒、教職員と共に上の坊方面の雑木林へ避難した。この時、広田湾方面(西)からも津波が襲来した。16時10分頃、上の坊公民館へ移動した。(2)



北から見た学校(2014/3/17撮影)

【調査して言えること】

学校の標高は12mほどあるが、門之浜湾(東方)から約1km、広田湾(西方)から約1.2km、大野湾(南方)から1.5kmと複数の湾に囲まれた入り組んだ地形の場所にあり、地震の際に高い津波が起こる危険性のある、高台への避難の必要のある学校である。

学校の周囲には高台や山があり、震災の時に避難した宮崎神社の社務所脇の高台は小学校の北側道路を挟んだ向かいにあり、200mほど斜面を登ると標高約40mに上がることができる。また、最後に避難した上の坊公民館へは避難した雑木林から見て北に200mほどの距離で、標高は40m以上あり、どちらの高台も安全な避難場所である。以上のことから、学校外への避難がしやすい学校である。



宮崎神社の石段(2014/3/17撮影)

※学校の隣にある神社。道路を挟んで向かいに社務所がある。



避難した高台の近くにある宮崎神社の社務所(2014/3/17撮影)